令和６年度　基本評価調書			所管部局	環境生活部	所管課	道民生活課	
施策名	男女平等参画社会の実現				施策コード	0305	
政策の柱	安全・安心				政策体系コード	2(6)B	
関連重点戦略計画等	北海道創生総合戦略、知事の基本政策						事務事業数 5
特定分野別計画	第3次北海道男女平等参画基本計画						
SDGs					総合判定	概ね順調	
予算額（千円）	R6	37,781千円	R5	32,122千円	R4	32,575千円	

施策目標	家庭や地域、職場など社会のあらゆる分野で、男女がともに力を発揮できる環境づくりを推進するため、女性の活躍推進に向けたオール北海道での意識の向上や、政策・方針決定への女性の参画拡大を進めるとともに、男女平等参画を促進する。
現状と課題	（男女平等参画への理解の促進） ・「固定的な性別役割分担意識」が残っており、30歳前後で、男性は就業率が上昇する一方、女性は下降していることから、こうした状況を解消し、男女がともに社会のあらゆる分野において個性と能力を十分発揮できる社会を目指して、啓発活動など意識改革のための取組を推進する必要がある。 （女性の活躍推進） ・人口減少や高齢化などを見据え、持続的成長を実現し、地域社会の活力を維持していくためには、女性の活躍を地域全体で応援していく必要がある。一次産業が基幹産業である本道においては、こうした産業構造などを踏まえた北海道らしい女性のライフステージに対応した活躍支援に取り組み、社会のあらゆる分野で女性の力が発揮できる環境づくりを進める必要がある。

〈主な取組〉

今年度の取組	（男女平等参画への理解の促進） 男女平等参画を推進する拠点施設である北海道立女性プラザの設置・運営を通して、学習機会の提供等を行うとともに、男女平等参画に係る広報誌や道のホームページで情報発信を行うなど、道内各地における男女平等参画に対する意識の向上や理解の促進を図る。 （女性の活躍推進） 関係機関や部局と連携し、女性の活躍に係る意識の向上を図るとともに、女性の多様な社会参画の促進に向けて、女性活躍推進のためのセミナーや女性の社会参画を紹介するイベントの開催など各種取組を行う。
実績と成果	（男女平等参画への理解の促進） ・男女平等参画を推進する拠点施設として北海道立女性プラザを設置・運営し、学習機会の提供や、相談事業を実施するとともに、市町村や団体等が行う講演会等の開催を支援した。 ・道内の男女平等参画に関連する統計情報を収集するとともに、ホームページ上に公表し、主な項目については「北海道内市町村女性の参画マップ」として表示するなど、女性活躍状況の見える化を図った。 ・広報誌を発行（年2回）し、男女平等参画に関する認識の浸透を図った。 ・男女共同参画社会基本法に基づく市町村計画の策定が進むよう個別訪問やWeb会議により市町村への働きかけを行った。 （女性の活躍推進） ・北海道女性の活躍支援センターにおいて、女性のライフステージに応じた相談等を実施するほか、各専門相談窓口とも連携して必要な情報を提供し、女性活躍を支援した。（R5年度:304件,R4年度:293件, R3年度:205件） ・男女平等参画チャレンジ賞を実施し、社会のあらゆる分野でチャレンジし活躍している方々を表彰することで男女平等参画社会実現への気運の向上を図った。（2件） ・官民で構成する北の輝く女性応援会議の開催を通し、オール北海道で女性活躍に係る気運醸成を図った（R5.11.6） ・女性活躍推進のためのセミナーや女性の社会参画を紹介するイベント等を開催。各セミナーのアンケートでは、いずれも95%以上の参加者から「参考になった」との回答があるなど、女性活躍推進への理解が進んだ。 　<主な取組>多様な社会参画イベント（R5:2回）、学生向けワークショップ（R5:2回）、防災ワークショップ（R5.7.31）、女性活躍推進セミナー（R5.7.27）、女性のための異業種交流セミナー（R5.10.20）

参考HP①	第3次北海道男女平等参画基本計画　https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/dms/djb/jourei/jourei_keikaku.html
参考HP②	
参考HP③	

令和6年度 基本評価調書	【2(6)B_0305】男女平等参画社会の実現

〈**指標分析**〉 ⇒成果指標は、原則、取組項目ごとに1つ以上、全体で5つ以下とする

指標名①	増加	%	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
女性(25～34歳)の就業率(暦年)		目標値	80.5	81.4	82.5	82.5	95.6%	B
		実績値	76.8	78.7	78.9			

設定理由	第3次北海道男女平等参画基本計画における基本目標「男女が共に活躍できる環境づくり」の観点から、社会の様々な分野で女性がライフステージに応じて活躍できる環境づくりに向けた取組の成果を測る指標として設定。
指標公表時期	毎年調査 翌1月末公表
出典(根拠計画等)	総務省「労働力調査」

分析(主な取組と成果)

女性(25～34歳)の就業率は、上昇傾向にあるものの依然として全国平均値には到達していない状況にあり、引き続き、官民のトップで構成する「北の輝く女性応援会議」での講演や意見交換、女性活躍推進セミナーの開催など女性活躍に向けた取組を進める必要がある。

指標名②	増加	%	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない人の割合		目標値	60.0	60.0	70.0	70.0	85.6%	C
		実績値	57.7	60.5	59.9			

設定理由	第3次北海道男女平等参画基本計画における基本目標「男女平等参画の実現に向けた意識の変革」の観点から、男女平等参画に対する意識の向上や理解の促進に向けた啓発活動などの取組の成果を測る指標として設定。
指標公表時期	毎年調査　10月頃公表
出典(根拠計画等)	北海道「北海道の人口減少などに関する意識調査」

分析(主な取組と成果)

R4年度に目標値を達成したことから目標値を引き上げたが、R5年度実績は横ばい状況であり、引き続き男女平等参画に対する意識の向上や理解の促進に向けて、北海道立女性プラザによる学習機会の提供や各種情報発信等の取組を、市町村や各種団体と連携して進める必要がある。

指標名③			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
		目標値					－	－
		実績値						

設定理由	
指標公表時期	
出典(根拠計画等)	

分析(主な取組と成果)

指標名④			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
		目標値					－	－
		実績値						

設定理由	
指標公表時期	
出典(根拠計画等)	

分析(主な取組と成果)

指標名⑤			R4年度	R5年度	R6年度	最終目標(R15)	達成率	指標判定
		目標値					－	－
		実績値						

設定理由	
指標公表時期	
出典(根拠計画等)	

分析(主な取組と成果)

令和6年度 基本評価調書	【2(6)B_0305】男女平等参画社会の実現

〈取組分析（連携状況、緊急性・優先性）〉

連携状況	(課題) 男女平等参画社会の実現に向けて、社会のあらゆる分野で女性の力が発揮できる環境づくりを進めるため、庁内関係部局をはじめ、オール北海道で連携して取り組む必要がある。 (取組) ・庁内関係部局で構成する男女平等参画推進連絡会議において、男女平等参画に係る課題や施策について情報共有を行った。(R5.7月開催) ・官民で構成する「北の輝く女性応援会議」の場を活用し、オール北海道で意識向上を図った。(R5.11月開催) ・女性活躍推進の意識向上に向け、関係する部局や各地域、民間と連携してイベントやセミナー等を開催した。
緊急性 優先性	(課題) 「地域からジェンダー平等研究会」が令和4年から毎年3月に公表している「都道府県版ジェンダーギャップ指数」では、4分野中3分野(行政、教育、経済)について下位に位置しており、審議会でも見解を問われている。他の都府県と比較して、特に企画・政策決定過程への女性参画の遅れが顕著となっているところ。 (取組) ・庁内の審議会等における女性委員の登用率の目標値を40%に設定し、女性委員の積極的な登用を全庁に働きかけるとともに、選考にあたり参考となるよう女性の人材リストを作成するなど、政策決定過程への女性参画促進に取り組んだ。 ・令和6年度は、新たに男性の家事参画を促進する動画作成や家事参画セミナー等を実施し、固定的な性別役割分担意識の解消に努めることとしている。

〈その他統計数値等〉

その他統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
社会のあらゆる分野で男女の地位が平等と感じる人の割合	7.2%(R3年度)	7.0%(R4年度)	7.9%(R5年度)

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

(課題)
「北海道の人口減少などに関する意識調査」において、「北海道全体で見た場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。」との設問に対し、「男女平等になっている」と回答した割合は、R3年度が7.2%、R4年度が7.0%であり、男女の地位が平等と感じる人の割合は依然として低位となっている。

(状況) 同調査のR5年度の数値は、前年から0.9ポイント上昇の7.9%となっており、男女の地位が平等と感じる人の割合はやや増加しており、引き続き男女平等参画に対する意識の向上や理解の促進に取り組む。	a

その他統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度
男女の平均賃金の格差	男性 302,100円(R3年度) 女性 227,400円(R3年度)	男性 297,700円(R4年度) 女性 223,600円(R4年度)	男性 318,000円(R5年度) 女性 239,600円(R5年度)

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

(課題)
厚生労働省「賃金構造基本統計調査」によれば、北海道の平均賃金はR3年は男性302,100円、女性227,400円、R4年は男性297,700円、女性223,600円であり、依然として男女の平均賃金に格差がある。

(状況) 同調査のR5年の実績は、男性318,000円、女性239,600円と男女とも賃金が上昇しており、男性の平均賃金を100とした女性の平均賃金は、R4年度が75.1、R5年度が75.3と、賃金格差の数値はやや改善している。	a

その他統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度

「施策目標」「現状と課題」に関する状況

(課題)

(状況)	

令和6年度 基本評価調書	【2(6)B_0305】男女平等参画社会の実現

〈総合判定〉

指標判定	B	連携状況	○	総合判定	概ね順調
		緊急性・優先性	○		
		その他統計数値等	a		

※ 成果指標の指標判定が「D」の指標

（該当なし）

	対応方針番号	内容
翌年度に向けた対応方針	①	引き続き北海道立女性プラザによる学習機会の提供や、情報誌の作成等の積極的な情報発信を通して、道内各地における男女平等参画に対する意識の向上や理解の促進を図るとともに、関係機関や部局と連携して、男女平等参画社会の実現に向けた施策に積極的に取り組む。
	②	女性活躍に係る意識の向上を図るとともに、女性の多様な社会参画の促進に向けて、イベントの実施やセミナーの開催など各種取組を行う。
	③	

〈二次政策評価〉

二次政策評価	

〈ＡＣＴＩＯＮ〉

二次政策評価への対応		
翌年度施策の方向性	対応方針番号	方向性
	①	引き続き北海道立女性プラザによる学習機会の提供や積極的な情報発信を通して、道内各地における男女平等参画に対する意識の向上や理解の促進を図るとともに、庁内各部局と連携して審議会等委員への女性登用をより一層推進する等、男女平等参画社会の実現に向けた施策に積極的に取り組む。
	②	女性の活躍推進に向け、関係会議をはじめ各種事業を再構築して、女性活躍に係る意識の向上や、女性の社会参画の促進を加速する。
	③	

令和６年度　事務事業評価調書

施策名	男女平等参画社会の実現	施策コード	0305

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	執行体制 本庁	執行体制 出先機関	執行体制 人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号	一次政策評価 方向性	二次政策評価意見	ACTION 結果への対応（令和6年度） 次年度方向性	ACTION 結果への対応（令和6年度） 二次評価意見への対応状況
0623		一般	北海道女性協会補助金	女性の知識・地位向上を図るための研修会等を実施するための経費の補助	道民生活課 女性支援室	0	6,926	6,926	0.3	0.0	0.3	9,329	① ②	改善（取組分析）		改善	
0624		一般	男女平等参画社会づくり推進事業費	男女平等参画社会づくりの気運を高めるための広報啓発活動や会議の開催、先駆的な活動等を行っている個人・団体等の顕彰、市町村の取組を支援するための業務 道や内閣府が行う男女平等参画に関する調査事務 北海道男女平等参画条例に基づく、道の施策等に関する苦情申し出に対応する委員及び道民等からの男女平等参画に関する申出窓口の設置のための業務	道民生活課 女性支援室	0	885	589	1.2	5.4	6.6	53,751	① ②	改善（指標分析）		改善	
0625		一般	女性プラザ管理運営費	道立女性プラザの指定管理に係る経費	道民生活課 女性支援室	0	23,126	23,126	0.6	0.0	0.6	27,932	① ②	改善（取組分析）		改善	
0630		事務	男女平等参画の推進に関する事務	男女平等参画に関する情報を道のホームページを活用して広く提供する（男女平等参画情報ボックス事務含む） 社会貢献賞の表彰に係る事務	道民生活課 女性支援室	0	0	0	1.3	1.6	2.9	23,229	①	改善（取組分析）		改善	
0634		一般	北の女性活躍サポート事業	社会参画を希望する女性に対し、柔軟性のある社会参画の方法を紹介するほか、企業や団体等に向けた講演会等を開催する事業	道民生活課 女性支援室	0	6,844	3,423	1.1	0.0	1.1	15,655	②	改善（取組分析）		拡充	
											0.0	0					
											0.0	0					
											0.0	0					
											0.0	0					
											0.0	0					
											0.0	0					
											0.0	0					
											0.0	0					
計						0	37,781	34,064	4.5	7.0	11.5						